

等安する處なく又々元師が國開關以來の重大なる政... 次で三月五日午前十一時頃暗殺計畫したるは時局柄國治で有る、依て文明國の指...

平和日本の政治は 基準何れに求むるか

茲に目を轉じて我が國政治を破り諸國に黒雲を捲起し... 過去を見るに各黨各派各軍部の動功を世界に賣名せ...

永に互り各派已々論議を交して組閣事業を以て世間を... 騒がし元師の注意を受け...

内郷町部落常會數

昭和二十一年六月現在

Table with columns: 部落名, 戸數, 常會會長, 濱井場大九, 新妻敬藏, etc.

鼻の話

鼻を利用したる言葉... 鼻垂小僧 鼻筋の通た美人... 鼻の強い人 鼻息の荒...

望展界業産

増産へ始動の響

活潑になつた生産陣

深刻なる經濟危機生産部面が平和産業へ本格
を救はんと石城地的に乘出して来たことは確
方の生産陣も最近だ、このたのしい増産へ
ようやく息を吹かして自主の始動の響を聞きつゝ石城
然しそこには種々溢路もあ 面及び商業界の動きを拾
つて思ふやうに計畫通り行て見る
つてゐないけれども地方の以下はその旬間展望である

もてあます諸苗

果物は風害で駄目

農作

今年の天候は大正十で甘著作りをして貰ひたい
年の豊年型と類似しと地方事務所、郡農業會で
てゐるので稲作は肥は出来過ぎた苗を圃んで懸
料と管理さい行届けば上作命である、また發育中であ
だど小名濱測候所では保證馬鈴薯は去月廿日の強風
してゐる、この行幸良い稲で一部倒されたものもあつ
作に桃んで早くも初旬にはたが大体順調、麥は平年よ
田植は永戸、澤渡の山間部も悪い見込みだが、果樹は
で始つた、これは東北配電と不作豫想ではない、丁度
の争議中ろう組のサーピス、開花時期に強風に煽られた
で電熱利用の温床苗代が齋果物は余り期待出来ない状
らしたものであるが、この態にある。

魚お

野山に緑の初夏が訪
れて来たと同様石城
各濱にも初夏の香を
る。

鯉が楽しみ

海濱も獲れる濱

のせて黒潮が寄せて来た、た日本アンブル有限公司は
大敷網と鯉漁がこのシーズ資本金五十萬圓の株式へ改
ンの覇者である、大敷網は組へ更に有限會社星製薬ア
儲が豊漁で三四千貫の水揚アンブル工場は株式(資本金
儲を見てゐる近頃ぼつ(五十萬圓)にし新星硝子工
儲も姿を見せて来たがこう 業株式會社と名稱を替へ
云つた暖流魚の漁獲も今後で硝子製造に乘出して来た
豊漁見込みである、一方鯉がこの外大塚駒太郎氏を社
漁は小名濱だけで十隻余り長とする大塚アンブル工業
も出漁豫定にあるが何れも會社(資本金五十萬圓)も新
資材難で仲々はかどつてゐる設また前記日本アンブル及
ない、唯小名濱港所屬中型び新星硝子工業では最新式
遠洋漁船明生丸は鯉漁本場の装置をほごした第二工
備津港(静岡)に廻港済みで場の新設も計畫中であり、
他の漁船も中旬頃には出港 新川町に新妻良平氏が常磐
出来ることになつてゐるがヤンマー商會を復活、諸機
うち何隻を追つて出漁出 械類の製造にも乗出すこと
来るか疑問である、今年の になつた、一方食糧危機の
鯉は一貫六三十六圓で食膳 救済に一役買った製粉工場
へ上る管だがこの外今月か 小規模のものが各地に操
ら解禁になつた海濱も採取 業してゐるが、正木昌次郎
のシーズンにある、江名八 氏を社長とする粉食加工製
千貫、豊間六千貫、小名濱 造工場(資本金五十萬圓)も
三千貫、四倉一千貫採取 市内第二校入口に新築する
富あり不振な供米に活を入 ことに決定平市を中心とし
れる代替供出も出来ので食 工業界も目覺しい進出ぶ
糖難の折柄大いに期待され りを示して来た

當分減産

勞務補充も必要

米と石炭は日本再興
の基礎物資と云
はれその重要性は戦
時中のそれをとらな
常磐各炭礦は四月以降減産

場工

目覺しい平市工業界
のうち特に平市の輕
工業の躍進はアンブ
ル工場に依つて活況を得て
現在まで操業してゐる

炭石

米と石炭は日本再興
の基礎物資と云
はれその重要性は戦
時中のそれをとらな
常磐各炭礦は四月以降減産

姿を見せた雜貨類

常道に復しつゝある平市

各種産業の物與と共ので縣商工經濟會平支所で
に商店界もやうやくは十五日から平市内大黒屋
復興の色を見せ特に及びなかや商店に平市内生
企業許可の縮限に依つて自家庭用品展示會を開いた
主的な小賣店が多くなつてが、こうした氣運が盛上つ
来た、荒物雜貨、下駄類はて来てやうやく常道に復し
多く現れ値段も下落してゐつゝある、一方開市も平署
この外木工、ガラス、の取締で漸次姿を消しつゝ
竹、土製品も相當石城地方あるので今後の自主的な商
に生産されてをり活潑に出入の活動が期待されてゐる
廻りを促進する必要があるのである

店商

各種産業の物與と共ので縣商工經濟會平支所で
に商店界もやうやくは十五日から平市内大黒屋
復興の色を見せ特に及びなかや商店に平市内生
企業許可の縮限に依つて自家庭用品展示會を開いた
主的な小賣店が多くなつてが、こうした氣運が盛上つ
来た、荒物雜貨、下駄類はて来てやうやく常道に復し
多く現れ値段も下落してゐつゝある、一方開市も平署
この外木工、ガラス、の取締で漸次姿を消しつゝ
竹、土製品も相當石城地方あるので今後の自主的な商
に生産されてをり活潑に出入の活動が期待されてゐる
廻りを促進する必要があるのである

守山天幕屋

リックサツク 附屬品上等揃つています
帆布 地 諸カバン 平市五丁目平醫院前

尾張屋商店

和洋紙 補助帳簿製造元
帳 紙 製品 文具 平市五丁目十九

水野隆介

平市大町 電話二九九番

配給だより

又も農村に福來たる 政府は愈々農村の供出振りを真心有りて認めてか今年七月頃にわ一般農村にのみ配給すると聞き耳よりなるたよりが來た、配給品は物資不足の折柄全く得がたき珍しき品で一般農着類と聞

良婦とは

何ぞや

いらぬ云譯をせずいつもはいくどすなをにする婦人 いつも氣持よく送迎ひして主人の氣持をそらぬ婦人 夫の同僚や友人を心よくてなす婦人 近所や親類との交際を圓滿にする婦人 自分の虚榮を捨て、主人の儀禮を立てる婦人 いつも健康で快活に家内を明るくする婦人 愚痴をこぼさずいつも笑顔で却て夫をほげます婦人 人目に見ひぬ心からの親切を盡す婦人 自分の身の苦しさを語らず夫の身の苦しさを語る婦人 貧乏に苦せず富に誇らず心

會社の内燃

神谷工業原料株式會社 専務取締役社長 神谷兼次郎氏 神谷工業原料株式會社は本社を平市に置き營業所を龍田、木戸、廣野、久之濱、四ツ倉、草野、赤井、小川湯本其他數ヶ所に置き勞主

巷の聲

野菜の洪水ともなれば値段は如何に、走りの頃一ペ二圓のサンドウ豆も三四圓台となつた、然し誰にでも買へる様になるを買漁もなく、街頭より姿を消した關市の魚を買へたくなる之れも人情である、無い物を採して買漁る處を見ることが辛い新圓生活とは云ふもの、一方には相當新圓に余裕のある事も思はれる、然し又一方には新圓生活とは買食ひだどコス月給取りの弊も深刻なる訴へである、日銭の入る者のみに與へられる新圓生活の幸福とも見れる、新圓生活、五百圓生活を巡つての話題は此處か

時計修理厚生の家

時計は呼ぶ 動くべきに生れ出て 動かさる時計の衰えを知れ 平市古鍛冶町蠟坂上り口

生花鈴木義雄 平市大町十九番地 平市七丁目(發電所入口角) 皆様の食堂 小料理 平市五丁目 電話九番九九番

釜屋商店 良品廉賣に優る商略なし 平市五丁目 電話九番九九番